

令和5年度 緑ヶ丘小学校の目指す教育

「楽しく、力のつく学校」

世界の現状

- ・グローバル化、国際競争の激化
- ・知識基盤社会、ICT革命、貧困
- ・脱炭素社会、多文化共生、等

日本の現状・課題

- ・高度情報化、国際化
- ・AIの発達、society5.0・経済的格差、いじめ・体罰、虐待
- ・多様性の尊重
- ・SDGsの浸透 等

教育界の動向・課題

- ・新指導要領の本格実施
- ・資質・能力の育成
- ・探究的な学習活動の充実
- ・ラーニング・コンパス
- ・学習習慣の確立・規範意識の向上
- ・ICTの利活用

校内研究

社会科・生活科「自ら問いを見出し、考え、解決していく児童の育成」
講師：白百合女子大学教授
坂本 正彦 先生 ほか

調布市教育プラン

- 命の大切さを自覚し、人の尊厳を重んじ互いのよさや違いを認め合うことのできる力
- 豊かな心、健やかな体を基盤に、確かな学力に基づいた「生きる力」
- 自ら社会貢献しようとする意欲をはぐくみ、社会的に自立するための基礎となる力

目指す学校像

- 一人一人が生き生きと活動する学校
- ・楽しさが子どもの可能性を開く
- ・授業改善で生きる力をはぐくむ
- 安全・安心な学校
- 人権第一・安全第一・事故0を目指す
- 地域や保護者に信頼される学校
- 奉仕の精神と迅速な対応で子ども第一の開かれた学校を目指す

学校教育目標

- 徳 … 礼儀正しくきまりを守る子
- ◎知 … よく考え進んでやりぬく子
- 体 … 明るい心とじょうぶな体の子

教育課程編成の基本方針

学習指導の充実

- <学習指導要領の理念に基づく学習活動>
- *主体的、対話的で深い学び
- *基礎・基本の定着（東京ベーシックドリル）
- *思考力・判断力・表現力等の育成
- *校内研究を通じた授業改善
- *ICTの積極的な活用
- <個に応じた指導の充実>
- *習熟度別指導（算数）
- *「個別最適な学び」「対話的な学び」へ
- <主体的な問題解決学習・探究活動の充実>
- *自ら問題を見出し、進んで解決しようとする児童の育成
- <体験的・直接的な学習の充実>
- *地域の自然、文化、施設、人材の活用
- <秩序ある学習環境>
- *授業規律の徹底、学習環境の整備
- ・読み聞かせ等、読書活動の充実

豊かな心の育成

- <人権教育の推進>
- *人権感覚の醸成
- *偏見や差別等許さない学校づくり
- <道徳教育の充実>
- *考え議論する道徳の授業の実践
- *「いのちと心の教育月間」の充実
- <いじめ撲滅>
- *日常的な指導・児童理解
- *いじめ防止アンケートの実施
- *エンカウンター等の導入等によるコミュニケーションスキルの醸成
- <教育環境整備>
- *教育環境（教職員は児童の見本）、挨拶、言葉遣い「先言後礼」の実践
- *清潔で安全な学習環境
- ・縦割り班活動（異学年交流）の充実
- ・教育相談体制の充実

健康・安全・体力の向上

- ポストコロナの生活・健康・運動習慣
- <生活習慣の確立>
- *早寝、早起き、朝ご飯の徹底
- <体育授業の充実>
- *運動の心地よさや楽しさを重視
- <運動の日常化>
- *短縄・大縄、ペースランニング、ミドリuntime等
- *ウィズコロナを踏まえた体力向上の取組の充実
- ・地域防災訓練への参加、不審者訓練、集団下校、交通安全教室
- ・栄養士による食育指導（世界の料理・各地域の料理等）
- ・養護教諭による「心と体」の学習

地域の特色や教育力を生かした活動の充実

- ふれあい給食や高齢者施設、福祉苑訪問などの体験的な活動
- インクルーシブ教育の充実
- コミュニティスクール立ち上げに向けての取組
- 幼・保・小の連携、小中連携の推進
- 白百合女子大学との連携協力の促進
- ICTの充実した活用へ向けた内容・方法理解の推進

国連等の動向

- ・ウェル・ビーイング
- ・MDGsからSDGsへ
- ・leave no one behindの精神

地域の様子

- ・PTA・町会・育成会がたいへん協力的で、安全面や環境整備・体験活動の充実等に献身的に取り組まれている。
- ・「子供は地域の宝」緑ヶ丘小を中核とした地域との双方向の関係ができています。

<3・11を忘れない>

- ・直下型地震を想定した地域と連携した防災対策・教育の充実
- ・調布市防災の日

◎「地域学校支援協働本部」から「コミュニティスクール」へ
組織化、活動内容の整理、実施へ

通級教室拠点校

- 児童の教育的ニーズに応じた多様な学びの場（教育活動・教育環境の充実）
- 合理的配慮・UDの共有